

育成モノづくり人材

Vol. 53

東京都立 蔵前工業高校

隅田川の対岸に東京スカイツリーがそびえ立つ青空が見える工業の学び舎。東京都立蔵前工業高校は1924年(大13)に創立した90年以上の歴史を刻み続ける伝統校。「高度な専門的知識と技術・技能を身につけたスペシャリストになる」を教育の根幹に据えて



渡邊校長

確保するために、建築・機械・電気・情報の基礎を学んだ上で、空調設備、給排水設備、消防設備などの専門科

日本初の学科持つ伝統校

おり、渡邊校長は「モノづくり教育を通じた人づくりを進め」と力を込める。4学科のうち、設備工業科は日本の工業高校で初めて設置され、現在も都内唯一の存在だ。快適な生活環境を

目を学ぶ。1年次に危険物取扱者乙種4類、「モノづくり教育推進校」に指定され、資格取得にも力を入れる。定期「部活動推進指定校」でもあり、自動車技術指導を受けており、15年度の資格取得実績は計666件。隣るかを競う「本田宗一郎杯Hondaエコマドリ工業高校ならではのイレッシチャレンジ大会」で、16年度も外でモノづくりの素養が身に付けられる。「かつて親や兄弟も残した。ほかにも機械が身につけられる。」(金曜日に掲載)

【DATA】▷校長=渡邊隆氏▷所在地=東京都台東区▷学科=機械科、電気科、建築科、設備工業科▷生徒数=502人▷主要設備=数値制御(NC)旋盤、マシニングセンター、CADシステム、高圧試験装置、自動かん盤、空気調和実習装置、排水通気実習装置など▷主な進路=いすゞ自動車、三菱電機、東京地下鉄、キヤノン、関東電気保安協会、関電工、住友重機械工業、日立化成、東京電機大、日本大、日本工業大、工学院大など



女子生徒も学びやすい環境づくりに取り組む

女子生徒は全校生徒502人中27人と圧倒的に少ない。渡邊校長は「もう少し女子生徒を増やしたい」として、女子トイレにのれんを付けるなど、ちょっとした配慮も進めている。男女を問わず優秀な人材の輩出に取り組む。(茂木朝日)

も多い」と渡邊校長。通学区域は江戸川、足立、葛飾など東部の区が多いが、西部の多摩地域からの通学者もいる。卒業後の進路は就職が約7割、進学が約3割。16年12月時点の求人数は13533社で、就職希望者は100%内定を勝ち取る。女子生徒は全校生徒502人中27人と圧倒的に少ない。渡邊校長は「もう少し女子生徒を増やしたい」として、女子トイレにのれんを付けるなど、ちょっとした配慮も進めている。男女を問わず優秀な人材の輩出に取り組む。(茂木朝日)